北杜市

B型肝炎ワクチン予防接種を受ける前に

1　病気の説明

B型肝炎は、B型肝炎ウイルスの感染により起こる肝臓の病気です。
B型肝炎ウイルスへの感染は、一過性の感染で終わる場合と、そのまま感染している状態が続いてしまう場合（キャリア）があります。キャリアになると慢性肝炎になることがあり、そのうち一部の方では肝硬変や肝がんなど命に関わる病気を引き起こすこともあります。

2　ワクチンの説明

B型肝炎ワクチンを接種することで、B型肝炎ウイルスへの免疫ができます。免疫ができることで、一過性の肝炎の予防だけでなく、キャリアになることを予防し、周囲への感染も予防できます。

●副反応

〇接種を受けた方の10%前後に、倦怠感、頭痛、局所の腫脹、発赤、疼痛がみられます。
〇重篤な副反応として極めて稀に、アナフィラキシー様症状や急性散在性脳脊髄炎がみられます。

●接種の標準的な時期　初回接種＝2回、追加接種＝1回、合計3回接種する

生後2か月から1歳未満の間に3回接種します。1回目と2回目の間は1ヶ月以上の間隔をあけて、2回目から3回目の間は4～5ヶ月の間隔をあけて接種します。

1回目	27日以上あける	2回目	139日以上あける（約4ヶ月半後）	3回目

0歳2か月から0歳9か月まで

1歳の誕生日前日まで